

議事録要旨

会議名	第6回ブランド専門部会
開催日時	平成28年10月25日(火) 19:30~21:30
開催場所	あわら市役所 102 会議室
出席者 (敬称略)	<p>【部会員(9名)】 市民/五十嵐平、あわら市/藤田由紀、松本智美、西田浩也、中島綾一、</p> <p>【オブザーバー(1名)】 大広北陸/渡辺(記)</p> <p>【事務局(3名)】 あわら市総務部政策課/小嶋範久(課長)、山口功治(課長補佐)、赤神貴幸(主査)</p>
欠席者 (敬称略)	<p>【部会員(6名)】 福井工業大学/下川勇(准教授)、市民/吉田知奈、奥中秀尚、江畑将亨、 笹岡太久磨、あわら市/堀川由貴、</p>
協議事項	<p>1.ステートメントについて</p> <p>2.スローガンについて</p>
会議内容 の要旨	<p>進行)事務局</p> <p>開会の挨拶(部会長) 今回は部会員のみでスローガン・ステートメントを検討し、気を遣わず意見をまとめ、お伝えしてオブザーバー(コピーライター)に再度出してもらいます。</p> <p>1.ステートメントについて</p> <p><u>部会員:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テイストを変えたものを提示してほしい。 ・ 最後のフレーズは違和感がある。 ・ ブランディングは最初は市民向けではないか。 <p><u>事務局:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略会議メンバーは外向けに考えていると思う。 ・ 日本海を渡ってきた風の部分、北潟湖を絡めたらどうか 「...風に、湖畔の風車がゆったり回る」など。 「日本海」、「湖」案をみせてもらい検討してみたい。 ・ 挨拶のくだりが嘘っぽく感じる。 <p><u>事務局:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会では初案にて説明し、異議がない状況。 ・ 初案をブラッシュアップした2案目がいいが「地平線」の部分が気になる。 地平線というのは北海道くらいしか見ないのではないかな?

議事録要旨

- ・ 挨拶は嘘っぽくないと思う。
- ・ 風車が受けてまわっている風は、向きから見ても海ではなく湖からの風であると思う。
- ・ 湖は入れたいけれど、日本海は消しがたい。

部会員：

- ・ 最後のフレーズは、これでいいかなと思っている。

事務局：

- ・ 初案をブラッシュアップした2案目がいいと思っている。
- ・ 想像力をかき立てるものから、固有名詞や分類するものが入ることで、現実味のある嫌な部分の想像が出てしまった。
- ・ 一案目は情景を時間で贅沢を感じるようになっている。のんびり・ゆったりがあるから生きる文章。時間・空間ともに完成度が高いと思う（部会長も賛同）

部会長：

- ・ 戦略会議メンバーには提示し、固有名詞が入った案は違和感があると伝達済み。固有名詞を含まない初案をもとに再度つめていきましょうか。
- ・ 贅沢は漢字が良いか、ひらがなが良いか。
漢字は悪いイメージと言うよりは堅さが出るので、ひらがながいいかと思っていたが、コピーライターの書面の通りステートメントは漢字で良い（賛成多数）
コピーライター書面 これまでの経過を見ていて、贅沢は、感じて「贅沢」のほうがインパクトがあったと感じた。文脈で工夫すれば、それほど「悪い意味」には捉えられないのでは。
- ・ 温泉にしようかな、は思う人もいるので良いのではないか。
- ・ 「日本海」「湖」「地平線」など細かい部分で代案がみたい。

部会員：

- ・ 地平線 水面に変更しては？（地平線に違和感を感じる）

< ベースとなるステートメント >

どこまでも広がる稲穂、ゆっくりと地平線に夕陽がしずむ。

日本海を渡ってきた風に、のんびりと風車がまわる。

おもえば「贅沢」な景色かもしれない。

食卓にはいつも、海の幸、山の幸、里のめぐみ。

こんやのお風呂は、温泉にしようかな。

これって「贅沢」な暮らしかもしれない。

おはよう。いい天気やの。いってらっしゃい、気をつけて。

みんなが声をかけあって、みんながみんなを思いあっている。

議事録要旨

これがあわらの普通で「ふだん」だけど、
よそから見たらとても豊かで「贅沢」かもしれない。
市内のみなさん、見つめ直してみてください。
市外のみなさん、どうぞ来てみて体感してみてください。
ここはあわら市、幸福な福井県にあるちょっと贅沢なまちです。

上記案をブラッシュアップしていくことに決定。

一段落目

2行目

「日本海」も捨てがたいが、北潟湖をイメージする「湖」を入れた案がみたい。

1行目

「地平線」に変わる案。実際に地平線に沈むところはないので、違和感がある。
田んぼに沈むや、大地・田園などを使った代替案をお願いしたい。

四段落目

内容は同じで、言葉のニュアンスが違う案を考えてみて欲しい、比較検討したい。
「市内・市外」削除案をみたい。

2.スローガンについて

コピーライターからの書面を確認。

- ・ 戦略会議でのご意見を聞いて、スローガンに「あわら」を入れたほうがいいと感じた。「あわら市からの発信」であることがわかりやすいし、「贅沢」が「あわら市ならではの贅沢」であることも伝わりやすくなると思う。
- ・ これまでの経過を見ていて、贅沢は、感じて「贅沢」のほうがインパクトがあると感じた。文脈で工夫すれば、それほど「悪い意味」には捉えられないのでは。
- ・ 現状のおすすめ案は、最後のほうにある「あわらな贅沢」および「あわら贅沢」。「ああ」や「ああ～」の感嘆の言葉をつけることで、イキイキと言葉が伝わってくると思う。

温泉に浸かった時の「ああ～、きもちいい！」や、
美味しいものを食べた時の「ああ～、うまい！」や、
きれいな夕焼けを見た時の「ああ～、キレイ！」のイメージ。

- ・ 市民のいろいろな「ああ」を集めた映像をつくったりしても面白いと思う。

いままでのスローガンに新スローガンを加え、

議事録要旨

- さりげなく、ぜいたく。
- ふだんが、ぜいたく。
- いい意味で、贅沢。
- 本当の贅沢、あります。
- お金じゃ買えない贅沢。
- 東京やN Yにはない贅沢。
- 北陸の隠れ贅沢！
- 幸福度も満足度も、沸いてます。
- 幸福をいちばん実感できるまちへ。
- **あわらまんぞく。(略称：あわまん)**
- さりげなく、すごく贅沢。
「さりげなく」の弱さに、「すごく」の自信とインパクトをプラス。
- 日本が忘れてた、田舎の贅沢。
「日本」と「田舎」の対比で、言葉としてのインパクトをプラス。
- あわら、ふるさと贅沢。
「あわら」と「ふるさと」を入れることで贅沢に独自性を。
- ああ、あわらな贅沢。
「あわらな」を入れることで贅沢に独自性を。
「ああ」を入れて強さと、温泉に浸かった時のような心地よさを。
- ああ～、あわら贅沢。
「あわら」を入れることで贅沢に独自性を。
「ああ～」を入れて強さと、温泉に浸かった時のような心地よさを。

部会員の意見として、「あわら贅沢。」という言葉が、印象に残りました。

「ああ」も要らないという意見があるものの、

- ・ ああ～「～」は、温泉要素高いので「良い」「悪い」で意見割れ。
- ・ 「贅沢」は漢字は、格好はいい。(コピーライターの意見に賛同多数。)
- ・ 「地名」、「贅沢」は入れた案がしっくりくる、賛同多数。

「あわら贅沢」をブラッシュアップしていくことに決定。

「あわら贅沢」という言葉に、細かいアレンジを加えた案で次回、検討したい。

次回開催 / 11月9日(水) 19:30 から